

(社) 日本コンクリート工学会四国支部  
第6回「四国のコンクリート構造物インフラドックの実現に向けた調査研究委員会」議事録

1. 日 時：平成28年11月21日（月）13：30～17：00
2. 場 所：徳島大学工学部建設棟5F A508
3. 出席者：渡邊委員長，朝倉，石井，上田，小原，河合，近藤，塚越，中川，林，水口，横田，北川（いの町・オブザーバー），山田  
（敬称略，順不同）以上 14名
4. 配布資料：
  - 6-0 JCI 四国支部「四国のコンクリート構造物のインフラドックの実現に向けた調査研究委員会」平成28年度 第3回（第6回）委員会 議事次第
  - 6-1 (社) 日本コンクリート工学会四国支部 第5回「四国のコンクリート構造物のインフラドックの実現に向けた調査研究委員会」議事録（案）
  - 6-2 地方におけるインフラドックシナリオの提言WG資料（岡崎委員）
  - 6-3 コンクリート診断士の活動促進について（近藤委員）
  - 6-4 第6回「四国のコンクリート構造物のインフラドックの実現に向けた調査研究委員会」インフラの維持管理における技術紹介WG（塚越委員）
  - 6-5 管理者WGの現状報告（林委員）
5. 議 事：
  - (1) 委員長挨拶  
渡邊委員長から，第6回委員会開催にあたっての挨拶があった。
  - (2) 委員の自己紹介  
山田より，前回議事録（案）が通読された。誤字の修正をすることを前提に了承された。
  - (3) 徳島大学で実施したME講座の講評について（上田委員）  
上田委員より，11月17日および18日に徳島大学で実施されたME講座についての紹介があった。
  - (4) 話題提供1「管理者WGの進捗状況報告」（林委員）  
林委員より，資料6-5に基づき説明があった。四国内の各自治体に橋梁メンテナンスに関するアンケート調査を行う予定との報告があった。
  - (5) 話題提供2「技術紹介WGの進捗状況報告」（塚越委員）  
塚越委員より，資料6-4に基づき，他のWGで挙げられているような課題やアンケート調査結果をもとに，どのような技術開発が求められ実際に行われているのかについて取り上げたい。また，定量的に構造物の損傷度を把握できる技術に関して，実務との兼ね合いを把握したいとの報告があった。
  - (6) 話題提供3「診断士WGの進捗状況報告」（近藤委員）  
資料6-3に基づき，前回会議での指摘を踏まえて図表の修正を行ったとの報告があった。これにより，コンクリート診断士と他のコンクリート構造物のメンテナンスに関わる資格の保有者や受験者の数の割合がより明確になった。
  - (7) 話題提供4「インフラドックシナリオWGの進捗状況報告」（岡崎委員）  
岡崎委員の代理として渡邊委員長より，資料6-2に基づいて，四国地方のインフラドックの構築・機能化にあたり，ドックの由来となった船舶のドック他，他分野における維持管理手法の運用についてヒアリング等の調査を行う。特に地方の特性の考慮の仕方を反映したものがあれば，それについて重点的に調査したいとの報告があった。

報告者：山田  
以 上